

アクキガイ

分類：新腹足目 アクキガイ科 (腹足綱)  
 学名：*Murex troscheli*  
 英名：Troschel's murex

日本中部以南の暖海の水深20~40m位の砂地に分布し、ホネガイよりやや浅いところに生息する。殻はホネガイより大型頑強で、棘は少く、太くて長く最長棘は50mmに達するものもある。ホネガイやオニホネガイには殻に斑紋がないが、本種は螺旋脈上に褐色の帯があり棘にまで延びる。蓋はオニホネガイと同様短階円形で核は下方に位置する。同属のサツマツブリ*M. haustellum*は螺塔が低く棘が小さく、全く目立たないで識別は容易である。



M. antillarum



アクキガイ



左端に同じ



サツマツブリ



M. cabriti



M. tribulus



M. scolopax



M. scolopax



左に同じ



ホネガイ

分類：新腹足目 アクキガイ科 (腹足綱)  
 学名：*Murex pecten*  
 英名：Venus comb

日本中部以南の暖海の水深40~60m位の砂地に生息する。砂地に生息するため岩礁の貝類と異り、殻はフジツボや藻などの付着がないので美しい。殻は紫白色で縦脈上及長い水管上の120°毎に細い長棘、短棘が60数本美しく整然と並ぶ。蓋は角質短階円形で核は側偏し中央に位置する。*Murex triremis*は旧学名。同属のオニホネガイ*M. termospina*はホネガイに比べて棘が太く、棘間隔が広く棘数が少い。蓋は核が下方に位置する。和歌山地方ではこれを悪魔除けとし軒下に吊すところがある。



オニホネガイ



オニホネガイ

